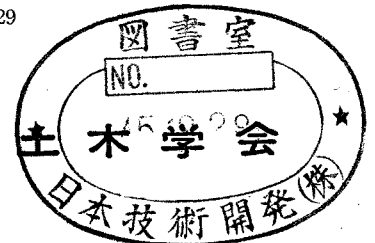


土木学会論文報告集

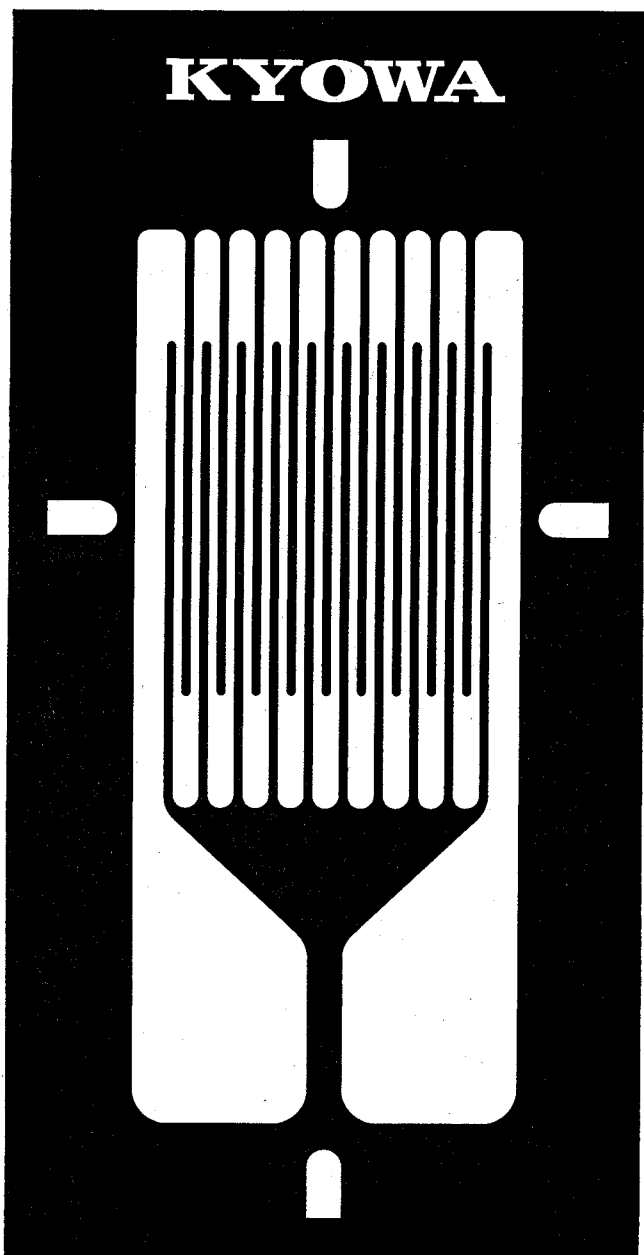
No. 184, 1970-12

偏心圧縮柱の荷重・変形状に与えるひずみ硬化の影響	草間孝志	1
板の三角形曲げ要素に対する寄与	関根成 千建 秋夫	11
構造用アルミ合金柱の耐力	青木 徹彦	23
点支持された斜板の有限要素法による解析	川島 一千 彦秋夫	33
3 ヒンジアーチの自由振動解法	山崎 徳也	41
強震時における1自由度系の塑性変形に関する考察	後藤 尚和	57
わが国、東海地方の細粒土ならびに砂質土の統一土質分類に関する考察	植野 下垣 協正	69
飽和砂層の液化機構に関する理論的研究	尾島 勝	79
道床部に着目した新軌道の研究	佐藤 裕朗	91
コンクリートの動的粘弾性定数ならびにポアソン比について	畑野 正行	105
海洋中に投じた長いロープのランダム振動(英文)	星谷 勝	113
2つのランダム過程の最初の交差する確率(英文)	星谷 勝	123
直線土砂水路における交互洗掘(英文)	河村 三郎	129



使いやすい、性能のよい 理想のゲージ

KFC型 箔ひずみゲージ



あらゆる種類の 接着剤が使えます

KFC型箔ひずみゲージは、ゲージづくり20年の経験、研究の成果が実った自信作です。

KFC型ゲージはベークライトベースのすぐれたクリープ特性、耐熱性、エポキシの耐湿性、ポリエステルへの貼りやすさをもったすぐれたゲージです。

接着剤はシアノアクリレート系、二液混合型ポリエステル系、フェノール系熱硬化型どれも使えます。手なれた接着剤で貼りつけてお使い下さい。

一般ひずみ、応力測定から長期安定性の必要な変換器まで広くお使いいただけます。

特長

1. あらゆる種類の接着剤が使える
2. クリープが少ない
3. 安価である
4. ベースが小さい
5. ベースが薄く使いやすい
6. 200°Cまで使える

●カタログお送りいたします。

誌名記入のうえ広報係まで

応力測定機器の専門メーカー

共和電業

本社・工場 東京都調布市下布田1219
電話 東京調布0424-83-5101

営業所/東京・大阪・名古屋・福岡・広島 出張所/札幌・水戸

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 184, December 1970

C O N T E N T S

- Effects of Strain-Hardning on Load-Deformation Relations of
Eccentrically Loaded oaded Columns.
By Takashi Kusama 1
- Contribution to the Triangular Element for Plate Bending
By Chiaki Seki, Tateo Kajita and Masao Naruoka 11
- Strength of Aluminum Alloy Columns and Beam-Columns.
By Tetsuhiko Aoki and Yuhshi Fukumoto 23
- Analysis of Points-Supported Skew Plates by Finite Element Method
By Kazuhiko Kawashima, Chiaki Seki, Tateo Kajita and Masao Naruoka 33
- An Analysis of the Free Vibration of Three Hinged Arch
By Tokuya Yamashita and Takeshi Sakiyama 41
- A Study on the Plastic Defrmation of Elasto-Plastic
Structures in Strong Earthquakes.
By Hisao Goto and Hirokazu Iemura 57
- Considerations on the Unified Soil Classification of Fine
Soils and Sandy Soils in the Tokai District, Japan
By Kano Ueshita and Kazumasa Nonogaki 69
- A Basic Study on Liquefaction Mechanism of Saturated Sand Layer
By Masaru Ojima 79
- Studies Toward New Ballastless Track Structures
By Yutaka Satoh and Yoshiro Higuchi 91
- Dynamical Visco-Elastic Constants and Poisson's Ratio of Concrete.
By Tadashi Hatano and Hiroyuki Watanabe 105
- Estimation of Safe Spacing Among Vertical Lines in Ocean.
By Masaru Hoshiya and Theodore Zsutty 113
- First Crossing Probability of Two Random Processes.
By Masaru Hoshiya 123
- Alternate Scours in Straight Alluvial Channels.
By Saburo Komtra Hsieh W. Shen 129
-

The Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku, Tokyo

JAPAN

論文報告集のページ数の厳守に伴う投稿規則の一部改正について

先に会告（学会誌 55 巻 6 号）でお知らせ致しました論文報告集投稿要項の「4.論文報告の長さ」にある規定ページ（12 ページ）を超過する論文が最近非常に目立って参りました。論文報告集は 会員全体のものであり、より多くの論文を掲載するにはおのずから 1 編あたりのページ数が限定されて参ります。

論文集編集委員会ではあらゆる点から検討を行なった結果 1 編あたりのページ数を 12 ページに決定したものであり、やむを得ない場合のみ超過を認めて参りましたが、現状では超過ページの判断の基準が困難になって来ましたので 12 月 1 日以降受付けの論文から下記のように扱うこととなりますのでご了承下さい。なお欧文で投稿の論文も同じ条件です。ただし、欧文で投稿された論文は従来の 9 ポー段組を 8 ポー二段組に変更します。

記

4. 論文報告の長さ：論文報告 1 編の長さは原則として図表を含み刷上り 12 ページ以内とします。ただし、4 ページまでの超過は認めますが、超過分は実費（刷上り 1 ページあたり 6000 円）負担していただきます。それを超過した論文は受付できません。
5. 和文要旨について：和文要旨は学会誌の論文紹介欄に掲載しますので論文の要旨が理解できるように 800 字（±10%まで認めます）にまとめて 4 部提出して下さい。

土木学会論文集編集委員

○印 主査

委員長	前田 幸雄	副委員長	○田 島 二郎	委員	小 池 尉 夫	委員	長 坂 普美夫
委員	阿 部 博 俊	委員	上 田 年比古	委員	後 藤 茂 夫	委員	長 村 重 平
〃	秋 元 保 利	〃	〃 上 田 勝 基	〃	越 藤 正 正	〃	中 村 正 英
〃	浅 川 美 人	〃	〃 小 田 英 一	〃	近 藤 敦 久	〃	成 西 信 文
〃	伊 藤 学	〃	〃 岡 村 宏 一	〃	佐 藤 吉 彦	〃	〃 野 谷 洋 二
〃	○伊勢田 哲也	〃	〃 岡 村 甫 満	〃	沢 藤 口 正 俊	〃	○新 野 尻 陽 一
〃	池 原 研 而	〃	〃 荻 原 国 宏	〃	審 田 登 雄	〃	〃 野 沢 幹 雄
〃	石 原 龍 夫	〃	〃 加 藤 子 光 美	〃	島 田 静 三	〃	〃 深 山 田 邦 光
〃	次 木 誠 一	〃	〃 川 北 米 良	〃	須 賀 廉 弘	〃	〃 山 田 正 幸
〃	稻 吉 正 敬	〃	〃 川 口 士 郎	〃	鈴 木 孝 二	〃	〃 安 田 村 仁
〃	飯 田 隆 一	〃	〃 倉 島 和 敏	〃	竹 下 淳 二	〃	〃 芳 村 田 裕
〃	○岩 垣 雄 一	〃	〃 工 藤 和 敏	〃	高 尾 孝 良	〃	〃 吉 田 明
〃	○岩 間 滋	〃	〃 小 村 敏	〃	高 松 良 晴	〃	〃 和 田
〃	宇 井 純	〃	〃 小 村 敏	〃	土 屋 敏 敬	〃	〃 和 田

土木学会論文報告集 No. 184

定価 300 円 (〒 20 円)

昭和 45 年 12 月 15 日印刷

昭和 45 年 12 月 20 日発行

発行者 東京都新宿区四谷 1 丁目

社団法人 土木学会専務理事 羽田 巖

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 振替 東京 16828 番

電話 (03) 351-5138